

バストス週報

第1401号
昭和四十九年
二月二十五日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shima Oda
Rua Pres.
Vargas 188
C. Post. 112
Fone, 40
BASTOS
C. P.
Anual.
Cr. 40.00
Adiant.

断前 9

「ワイン」哲学

○先日、日本の雑誌を見ていたら、近頃日本では葡萄酒がやり出し、若いも若きも女の子までワインに夢中になっていゝ様子。ブドウ酒はフランスが本場で、量産も世界一。次がイタリアで、ソ連、英国とつづき、日本は二十四番か五番目だという。日本では山梨県、静岡県が産地として有名だが、全国どこにも産出する。しかし、果物として生食してしまいういん、すするのほ少いのだぞうだ。

○何十年前か前、私が少年の頃、郷里で甘ぶどう酒を半カップ程のんで悪酔したことがあり、それ以来、こりてぶどう酒を見ろのもいやになつたことがある。

その頃ぶどう酒は酒屋にはなく、薬種屋の棚に二、三本並んでいたものだ。た。それが、何十年かの今、日本酒の世界に割り込んで、都会といわず田舎に道で浸透し、しかも家庭酒として愛用されるに到つたとは、随分変わったものである。

パリで飲む酒はウイスキーが多く、水割り、オンザロックなどという若い衆はよく梯子をやるが、何杯もやつていゝ肉のひてしまふ。

日本酒はおもに主客用であり、家庭でなら主人がのむぐらいのもので、徳利二本もあれば、あとはメシにしてしまふ。

ところが、ワインとなると、父子、母子、一家食卓を囲み、食後まで茶の代りにのむから愉快だ。つまり弱い酒だから、酔つてくだまふようにはない。

数年前、ブラ拓の谷内技師さんがスイスのシュネーブへ行き、朝食中一時間位ワインを飲み、テラスの長椅子で休憩していらると、ホテルのガルドネツキが、又ワインを持ってきてすすめてくれる。さまたまなチーズを盆にのせて、客にすすめてまわらる。

一時間ぐらいそこで雑談したり、高談したりした、という話をされたことがある。

○そういう欧米人の食生活の習慣が日本にも入ってきたのであろう。

○日露戦争のとき、バルチック艦隊が来寇したが、日本海で東郷さんにやうれ全滅の憂目にあつた。あの原因は、バルチ

HOTEL PRIMAVERA



プリマヴェーラ
プレジテンテ ヴァルガス街
食堂 森川悠一

電話九十二番
C.P. 六〇番

毎度ありがとラッございます。
御宿泊と御食事に
御家族連れの御食事に
御宴会と御会食に
日本料理とブラッソ料理
毎不曜日ハフェツヨアード
バストス名物料理

ウイスキーが弱かつたからだが、各機とも
が、ウオッカの不足であつた。ロシア人
の飲物はウオッカだが、戦時画報という
、当時の写真画報にそんなことがのつて
いた。

長い航海中將兵は、日曜日になると、
甲板に列を作つて慰安の酒、ウオッカの
樽からカネカを次の者に渡す。その慰安酒
を飲んでいゝ光景が写真でのつていゝが
、いざ東郷艦隊と砲火を交える頃には、
もうウオッカも底をついてしまつた。

これに引替へ日本の將兵は「皇國の興
隆は此の一餐に在り」と元氣百倍の武
者ぶりをいふた。

○こういう時の酒は、ワインでは駄目ら
しい。やはり、黄金酒でないといふ、英氣は
発生しないといわれる。

開高健という作家が、ベトナム戦争の
中期サイゴン方面に取材に行き、第一線
の米軍兵舎での見聞記を書いているが、
米兵は毎食時にカンビールと鶏の缶詰を
支給される。南越兵は、そんな贅沢はさ

せてもらえぬ。一発まともに食うえは第
 巻の終りが戦争というものだ。命がけの
 仕事をしてゐるのに、夕方のビール一杯
 ぐういねざらつてくれるのは、あたり前
 だろう。ところが、国力の奈何、
 では、その一杯が容易ならぬ出費になり
 、負担になるのだ。
 戦争中、日本人は酒にありつくなど、
 減多にないことだったが、コ卓では冷な
 る程あった。軍は先取りしてしまふので
 、何も不自由しなかつたが、国民はない
 ないづくしだったようだ。
 ある戦争軍曹殿は、お茶の代りに酒を
 ご飯にかけて酒飯と豪語してゐた。どん
 な彼でも上官が来れば直立不動の「敬礼
 で、寸分乱れぬところがえらい。しざ突
 撃ともなれば、勇氣凛々として敵陣に飛
 込む。

ワインを知らずに日本を出てしまつた
 私は渡伯後も下積みで、せいぜい水割り
 のビンガで育ち、ウイスキーがあつても
 高嶺の花、うかつな辛佐ウアインニョチ
 ントを知らなかつた。というより、ワイ
 ンを呑む機会がなかつた。
 ワインというものは甘いものと、勝手
 にきめて、甘い酒など飲めるかいと、手
 を出さなかつた。

ところが、ある時、金持の伯友にシ
 ャンタに招待され、一流のレストランで
 珍らしいフランス料理を御馳走になつた
 ことがある。食卓の飲物は上等のワイン
 であつた。
 すすめられるさまに、ワインのカップ
 白と赤と別々になつていたが、両方とも
 甘味はなく、しかも口当りがやわらかで
 、芳香があり、料理によくマッチする。
 「このボルドウ、どうですか」といわれ
 「いや、こんな上等のワイン初めてです
 という」と

「お気に占したら、沢山あがって下さい
 といひ、その友人は、料理を食べ、ワ
 インを飲み、なかなか健啖振りであつた。
 ちよつと油っこい料理には、ワインは
 よく合うものだと思つたが、その時のワ
 インは、フランスでも名酒の方で、一び
 ん何十コントもするものであつた。
 そういふことがあつて後、ワインの味
 を覚え、汽車の食堂などでは、ワインニ
 ョチントをとり寄せ、えらそうにかま
 てのんだことも再三あつた。
 だが、正直なところ、はじめは酸っぱ
 い味で、ちびちびなめろよな飲み方だつ
 た。

ブラジルも欧米系の人種が沢山入りこ
 んでゐるから、彼らの食卓では主として
 ブラジル産のワインで賑わつてゐること
 だろうが、毎日の飲料としては一本何百

Organization Rio Branco S.A.

おしらせ

七三年度の
所得税申告受付
 (インポスト・デ・レシタ)

開始しております

必要書類、
 ノッタデ・プロツツール
 ノッタデ・コンプラス
 レシーボ、一切その他、
 家畜、作付面積、銀行からの用紙
 フレシテンテ・ヴァルガス街一八八

法律会計事務所

Dr 石川 雅宏
 Dr 小林 平行

C.P. 一〇三 FONE 一〇五番
 一八〇番

コントもするワインは、余程のリッコで
 ないと用いまいだろう。
 ○ワインは、アルカリ性の飲用だから、
 船の栄養となるそうだが、安心しての
 める。始めのうちにはしぶい、とか、すつ
 ぱい感じがあるが、自然馴れてしまふが
 、のみにくい人は永片を入れてウイスキー
 のように溶かして飲むと妙である。
 ○尚、これは私の大発見であるが、ピン
 ンに氷を浮かべ、これにワインを適当に注
 入すると、ピンガのくさみが消えてよい
 味となる。シンザノなどのような甘口
 よりカエテのセッコがよい。
 カエテといへば、コチア産組員がカエ
 テ地方で醸してゐるワインで、リッコロ
 ツとセッコがあり、チントとブランコが
 ある。値段の安い割に美味といえる。ま
 るで提灯になつてしまつたが、高価なも
 のはどうまいとは聞かないのが、ワイン
 ださうである。
 ○ワインの出る食卓だと欧米ではいやに
 エケケツトがやかましく、服装などにも
 こだわらうのだが、グラスの持ち方までと
 てはよいとして、グラスの持ち方までと
 やかくいわれると、折角の料理もワイン
 も台なしだ。美女も高笑し、はしやぎ、
 そして、ガブ飲みしなくては、うまく
 ない。参考までに印すと、
 アルコール度 ウイスキー 四三度

だから、いくらワインが健康にいいからと、いても、ビール一杯で金貯の火事見舞になるような宮崎君や、宮崎くんに、は、うっかりすすめられない。

連載小説 恍惚の人 42

糸音

「老人性痴呆も齧歯と同じものだというんだ。何が？」

「どっちも、文明病なんだそうだし齧歯も？ どうして？」

「齧歯は原始時代にはなかつたらしいよ。齧でしよう。」

「歯医者が言っていた。食物を火で煮炊するようになる前は、齧歯はなかつたんだぞ。きつと北京原人なんかには齧歯がないんだらう。エジプトのミイラはどうかな？」

「齧歯が出来るまで長生しなかつたんじゃないの。昔は。人生五十年って言ったでしょう。」

「敏は幼稚園の頃にもう齧歯があつたらう。」

「あら本当だ。私は女学校に行くまで一本も齧歯がなかつたんですよ。敏の歯は、あなた達の遠征ね。」

「女はすぐに論点を外してしまふと信利は燃然としたが、昭子はしばらく夫との会話を反芻していたらしく、急に驚いた表情になつて問い返した。」

「文明病ですか、齧歯が？」

「老人性鬱症ともいうらしいが、特に病気が言いたるほどのものじゃないと医者者が言うんだ。」

「どうして文明病なのかしら、文明が発達して平均寿命が伸びたのと関係があるの？」

「どうかね。」

「どう言えど昔話に巻録した年寄りのことなんかに出て来ないわね。お爺さん、お山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に、みんな働いてるわ。」

「その爺さんと婆さんは、僕たちの爺かもしれないよ。」

「いやだ。でも、そうかもしれない。四十過ぎの恥掻き子なんていうもの、紙の中から生れたことにしたのかも知れないわね。」

「挑太郎の老年学的考察をやつての信利は、昭子は明るく笑いとばしたが、信利は茂造の入歯を見たシヨツクからなかなか立直れず、憂鬱だつた。診療所の歯科医が歯を抜きたがらない理由が、かく

も深く納得できたことはなかつた。しかし、齧歯医と信利の相互の努力もむなしくなる日が先きに行つて訪れることがあつたらうでしょう。どんな優れた歯医者でも齧の老化を手当することはできず、それを完全に防ぎされるものではない。いつの日か齧茎に埋れた齧の根が腐り、人工入歯を口の中に納めなければならぬときがくるだろう。信利は自分が老いて、敏の妻の手で入歯を外されるときを想像すると、身の毛がよだつた。一パバもママもこんなになるまで長生しないぞね」といふ息子の声が、耳の奥で響く。敏に言われるまでもなく、さうなる前に死にたいと痛切に思う昨今だが、あれだけ正直に言われてしまふと、心底でまだ愕然として居るものがあり、そのために覚悟を迫られて居るような気がする。

このところ通勤の途中で買つて読みすてにしている週刊誌でも、老人に関するものは、小倉打記筆でも信利には生きなましの刺戟になつて居た。ニユーギニアなどの辺地のルポルターージュの類を読むと、パプアは老衰した人間を高い木に吊して「実が成つた、実が成つた」と叫ばいながら一叩き落して殺すとか、ホツテントットは足腰たたなくなつた老人を生きたまま焼き殺すとか、そんなところば

おしらせ

必要書類

ノツタデプロットール

ノツタデコンプラス

デスペーザ(ヘレシー、ホー)

(新法令追加) ガードの数、パスポート、作付面積、グランジマの面積、その他、銀行からの用紙を御持参下さい。

所得税申告

インホストテレング

締切前に一度にとつと持参され、是非常に混雑いたしますので、なるべく早く御申込み下さい。

ロッドベアリオ前
法律 森重事務所
会計

電話 二〇〇番
住宅 三〇七番

Declaração de imposto de Renda

御通知

バストス市役所は、一般納税義務者に規定通り出来るだけ速やかに納税されるよう、御通知いたします。尚又、市金庫より滞納者各戸へは、三十日以内に支払されるよう、法的に取立することを、御通知いたします。

税金支払いは市役所徴税係へ執務時間内においで下さい。

バストス市役所徴税課

アルゲルド パスカクリス

PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS
AVISO AOS CONTRIBUINTES

A PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS, convida os contribuintes em geral para quitarem seus débitos municipais com a máxima urgencia possível.

Outrossim, os contribuintes com atraso aos cofres desta municipalidade, receberão, pessoalmente, uma notificação para o acerto da dívida fiscal com prazo de trinta dias, a partir do qual a mencionada conta será remetida à cobrança judicial.

O pagamento deverá ser efetuado na tesouraria da Prefeitura Municipal de Bastos, no horário útil.

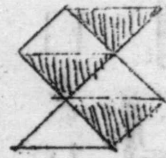
Bastos, 12 de fevereiro de 1974.
Alguermo Paskakulis
Lançador Municipal.

かりが目についてしかたがない。日本人の人口老齢化が急速に進んでいるという記事など、今までは読んで読み通してはいたが、活字の方から積極的に眼の中へどかどかと飛び込んでくるようになった。信利にとってやりにくいな。父親の老と造とだけ結びつくのではなく、やがて遠からず自分にも同じ運命が待ち受けていると思わずにいられないことだった。戦後の二十年さへ隔くうちに過ぎた。戦後二十年の間に、この二十年が長いわけがない。そしてこの頃には信利は、老人・。ただ老いるだけではない。生あるものの宿命だ。緑を繋ぐ。花もまた咲いた時期があり、緑が居るのだし、社会的にも一応のところがまをくだらう。実を結んだ後は、枯れて朽ちる。枯れるのほい。枯淡の境地とは望むところだ。そして朽ちるの甘受したい。しかし病葉が裸木の枝先からみついてきた。一枚、残っているように、あるいは赤く熟れた柿の実が人の手が届かない高い木の枝にひっかかっ、そこに醜い姿をさらしなから、枯れ、朽ちていくように、枯れたい。枯れたら深く地に落ちて死にたい。

柿か、信利の思いつく。信利は当惑してはいない。願わくは自分にとっこの文脈病は、歯だけであってほしいものだ。信利は溜息をつき、布団の中で幾度も寝返りを打った。こんなことは、よくない。しかし、こんなことは、よくない。信利も自分で思いつくと、さすがに信利も自分に呆れた。自分用にも睡眠剤を調合してもらえばよかったと思う。昭子の方は不眠が続いて、疲れきって、観念的な思考に陥ることがなかった。彼女は熟睡した。夢も見なかった。両手をひろげて枕に喰いつくようにして深く一心に眠り、久ぶりに健康な眼ざめを迎えた。部屋の中が白い。螢光燈が点けられた。腕時計をみた。針が読めない。時計の針が読めない。時計を見るとき、午前六時になっている。電気を消し、兼造の方を見ると、彼は仰向いて眼をばし、させている。昭子は機嫌よく声をかけた。お爺ちゃん、お早う。よく眠れました。

Industria e Comércio de Rações Bastos Ltda

Rua Duque de Caxias, 280 C.Post. 22
Fone, 342 BASTOS S.P.



SENHORES AVICULTORES

A INDÚSTRIA E COMÉRCIO DE RAÇÕES BASTOS LTDA; (antiga CASA DA RAÇÃO LTDA.), distribuidor da ração SOCIL em Bastos, comunica aos senhores avicultores, que mantém a completa linha de produtos veterinários (antibióticos, quimioterápicos, vacinas, desinfetantes, vermífugos, etc....) mais alta qualidade, para pronta entrega.

VISITEM-NOS

養鶏家の皆様へ

インヅストリア コメルシオラツソリエス

(旧社名カトサラツソソ)

ラツソソSOCIL代理店

バストスリミッタダ

養鶏家の皆様へお知らせ致します。

当店は常時抗生物質、化学薬品、消毒剤、虫下し、コリーザワクチン、バツシーナ、その他多くの薬品をそろえてありますので、御使用下さい。

ヅツケデカシヤス街二八〇番地

電話 三四二番

「はい、はい、照子さん」
「夜中に一度も起きなかつたみたいですよ」
「はい、はい」
「薬が効いたのだ！ 照子は両手を挙げて万歳を叫びたくなつた。鎮静剤が効いて、茂造は夜中に一度も目が醒めなかつた。こんなことをどうしてもっと早く思いつかなかつたのだらう。薬が効く、これで照子は、茂造の老人性幻覚に毎晩悩まされることから解放されたのだ。科学って、なんく素晴らしいのだらう。文明病なんて怖るるに足らずだ。」
「さあ、お爺ちゃん、起きなさいよ」
「照子さん」
「どうしたんですか」
「尻の具合が変ですよ」
「え？」
「茂造は失禁していたのだ。照子は機で布団をはぎ、茂造の下着をとり替へ、着替へさせてから、急いで布団の始末をした。その間に敏が降りてきて、トイスタにパンを突っこんでから洗面し、立ったままトイストを牛乳で呑み下して出て行ってしまった。」
「続いて信利がむくんだ顔で降りてきて「どうだった、親爺は」と訊き、一度も起きなかつたと答える

「それはよかつたな」
「照子が鏡子を合せないのが不審そうだったが、やがて慌しく出勤してしまつた。照子は茂造が小水を洩らしたことを夫にも息子にも告げられないほどシヨツクを受けた。生理の欲求にも眼がさめないほど強い睡眠薬だったのか、あるいはそれだけ茂造の老化が進んだのか、あるいはそのか。それが分らない。睡眠を防げられない、それは照子には有がたいことだ。あれども、薬というものは必ず副作用があるという科学の知識を、あいにくなとに照子は持っていたのだ。照子はこれまでに睡眠薬を飲んだ経験があつたけれど、膝と膝とした状態で小用に起きるか、朝まで自然の時ひ声聞かずに眠つてしまふかのどちらかであつた。茂造の失禁が薬の副作用による老化の前進ではないかと考えると、自分が眠れたのを喜んでばかりはいられない。弁当を持って松の木敬老館まで送つて行き、それから出勤すると幸務所には一時間の遅刻になつたが、そこは小人数のところだから事情を話せば諒解してもらえた。実際ペラランの照子に休まれると、全くお手あげになるのだつた。」
つづく
著者 有吉佐和子

おしらせ

訪日をなさるお方は

トヨヨリツリスモを御利用下さい

三月二十九日(日航ジャパンポ) 五月七日

六月十七日(欧州廻り) 八月九月(本年度最終便)

東洋国際旅行社

TOYO INTERNACIONAL TURISMO LTDA

皆様の御便宜を計り、一千ドル迄、三菱銀行より、六ヵ月より二年迄長期融通の御世話をいたします。

なお、東洋文化研究会、という社がありまして、飛行機便取扱い上問題を起した由ですが、それは当社とは何ら関係ありません。

御訪の方へ左記へ御相談下さい

代理店 宇佐美ホテル

二十一世紀の

大國ブラジル

2

ここで日本企業の土地買い占めが集中した。いま建設中のものだけでも、住友商事、丸紅、朝日開発、日本不動産銀行のビルなどがある。歩いて五、六分ぐらの範囲だから、目立つことおびただしい。このため、三年前には一平方メートル五万円だったのが五十万円になった。邦字新聞がこれを取り上げた。日系人の間で、住友商事、丸紅など土地買い占め、企業の評判はよろしくない。地元の一漁経済紙は「日本企業は儲け金をすぐ本国に送金する。もっと再投資にまわすべきだ」と出張した。昨年日本からの投資は一億八千六百万ドル、うち再投資は七百万ドルに過ぎない。

日系人と日本人の断絶が問題

サンパウロ市内の経営コンサルタント事務所、元商工相のフアビオ、安田氏(48)は、日系人で初の閣僚、日系人社会では実力者のひとり、その安田氏は、「日本企業進出の人たちは、日系人社会の人と必ずしも融け合って生活をしてはいない。もっと日系人を理解してもらわねば

いと「危険な状況になる。危険」と訊きかえすと、少し考えて「微妙な(デリケート)と言いつつ、なおも「私自身も日系二世」と口ごもる。周囲の人の話をまとめると、そういふことらしい。

農業移民として、日本からやってきたのは昭和の初め。海外雄飛の先駆者。などと日本政府が積極的に奨励したが、その実はふえる一方の人口問題の解決策。ていどのよい棄民だった。作家の石川達三氏がそのへんのことを「蒼氓」(芥川賞作品)書いている。彼らは黙々と働き、蓄財してブラジル人社会でや々と認められるようになった。ここでは勤勉と努力だけが武器だった。そして二世の誕生。成長して来た。

社会的地位の高い仕事につく人もふえた。サンパウロにある日伯文化協会の資料だと、二世のうち州の議員七人、市長十一人、市会議長十五人、大学教授十八人、医師八百人などである。

移住者とその子供たちは「コロンニア」と呼ばれるが、その数はざっと六十万人。すでに苦難の道は終わったが、その精神は本格的なバックボーンは、明治、大正時代の日本の精神である。いまでも明治天皇の御真影が座敷に掛けられている家庭も多い。

そこに「新しい日本人」がどつどつとばかりにやっつてきた。日本の大企業は、高い技術力と豊富な資金を持つ。いつてみれば先進国の企業である。そこに従事する人間も、顔こそ日本人だが、かつての日本人と感度も違う。「どうもちよつとおかしい。相手に利用されるかもしれない」という警戒心を日系人達が持っているというのだ。

日本からの派遣社員には、たいていポルトガル語を話せる二世が助手につく。大手商社では、派遣社員だけで三十人も四十人もいる。日本の組織をそのまま持ち込んでいるから、部下に日本人社員も多い。日本語だけで、仕事をすませることもできる。仕事が終われば、日本人社員だけで日本料理やすし屋、日本人バーへ、そこでは小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」のレコードがかかっている。バーでは、日本女性のホステスが足りないので、韓国や台湾の女性に日本語を教える間に合わせたりする。休日には、マイジャンやゴルフ。日系人と積極的に交際している人はごく少い。ある大手商社の社員は「ここでこう話していた。」「言っちや悪いけど、一時代前の日本人という感じで、つきあいにくいんだ。要するに田舎っぺで、なにやら物悲しいんだなあ。仕事とられはしようがないけど、われわれと接する人も、九州の農民のもつずるがしこさと大阪商人のソロバンの持主といったところだね」

「微妙」だが「危険」な状況ではない

サンパウロ大学の経済学部教授でブラジル移民の研究をしている青藤広志教授は、「新しくきた日本人は、価値観がほとんど変化した戦後の時期を生きてきた。それに比べて戦前からいる日本人は、そんな、精神革命を経験していない。悲しけれど、感覚やものの考え方が違うことはたしかだ。それに日系二世は、ブラジル人であり、日本人であるという二重人格をもつ。だからブラジルの愚口をいわれると怒るし、日本人的感覚でなれなれしくされると戸惑う。ブラジルにやってくる人たちが、この点を理解して、日系人社会に融け込んでもらわないことには、

進出企業に問題があることもたしかだ。その一つが現地で採用した日系人の処遇問題だ。経営コンサルタントのネルソン・瀧谷さん(57)はこういう。「大学出の優秀な二世がいるのに、通訳としてしか採用しない。能力が上でも、付ラリは派遣社員よりずっと下だ。米、国々欧州の企業は能力があれば、どんど

DESPEDIDA

VICTOR GERALDO PENTEADO e IRMA TREVISAM PENTEADO, ex-agentes do correio desta Cidade, na impossibilidade de se despedirem pessoalmente de todos os amigos que aqui deixaram, vem através deste jornal despedirem-se, agradecendo toda a colaboração, toda a gentileza e toda a amizade que aqui receberam drante a sua estada nesta progressista cidade da no periodo de quatro ano que aqui permaneceram.

VICTOR GERALDO PENTADO
Rua José Bonifacio, 15 110-BAURU

(元の郵便局主任、バウルへ
転任された挨拶です。

御案内

浪曲と舞踊の夕おどりの夕

来る三月二日(土)午後八時から
場所 バストス南米本願寺

熱演者

- 浪曲 梅中野末月
- 光中野春月
- 教島野残月
- 音曲舞踊 本田ふじ子

以上の方々が聖市からお出でになり熱演下さることになりました。(入場無料)
(御本人方は経営をかりてお出ですから、若干の御花の志を要望)
○御老人、また同好者外皆々様、とうが御観覧下さいませよう御案内いたします。

バストス 世話人

重役にも拔擢する。二世の会社での地位を上げてくれれば、一世の人たちも、進出企業のことよく思うはずで

これまでもこの現地社会と摩擦を起して、事件々になつたことはごく少ない。ゴルフ練習していたマクルト社員が、ボールを拾って逃げた少年を持つていたピストルで射殺した事件がただ一つ。采年春には、判決が下るそうだ。

しかし、感情的な反発は出始めている。本田技研のブラジル事務所長の飯田始さん、あるバーで、サンパウロ大学の理争という老紳士に「日本人は農業だけや

っていけばいいんだよ」と、はき捨てるような口調でいわれた。ブラジルの知識人にも、黄色いヤンキー々に対する反感があるのをかい間みたような気がしたという。

いまのところ安田氏のいうように、微妙な状況であつて、「危険」な状況ではない。なによりブラジルは多民族国家であつて、外人々に対してアレルギイはない。

しかし、進出企業の側に、親日国という甘えに似た感覺があることもたしかである。危険な状態になる可能性は十分にある。もし、タイで起きたような日貨排斥運動がここで起きたとしたら、日系人が七十万もいるだけに、そのアツ

しきはそれ以上のものがあるのではない。ブラジル人がよくいうように「アキマリ、ブラジルの風習、考え方に合致するところが大切だ。」

この国で日本企業、ひいては日本人が反発をかつたら、もうどここの国に進出しても失敗するだろうから。(完)

世界最古の入れ歯

世界で最古の総入れ歯をしたのが、日本人で、しかも剣豪として有名な人間だつた。こう聞くと、サテ誰でしょう？

とクイズの番組みたいになつて来るが、これ柳生宗炬の三男で、將軍綱吉の剣術の先生であつた柳生飛騨守宗冬である。彼は一六七五年、今から二百九十九年前に六十三歳で死んでゐるが、その時一本の丈夫な歯もなく、すべてこれ入れ歯であつた。三百年も前の総入れ歯といふのは、世界最古のものである。

一本か二本抜けた処に入れ歯は、紀元前四、五千年頃からギリシャ、アッシリア、インド、中国などでつくられていた。それは、象牙やカバの歯を細工してつくつたものである。その後、一六八〇年にオランダの外科学医アントン、ヌックがカバの歯で下あご

の総入れ歯をつくつてゐるが、上下総入れ歯が西洋をつくられたのは、十八世紀前半である。

宗冬の入歯は、肉床の部分はツゲの木で作られ、そこに蠟石で彫つた歯が正確にはめこんである。

これは、東京台東区に法徳寺にある柳生家歴代の墓所が、区画整理で改葬されたときに、遺体の納めてあつたカメの中から発見されたものである。作者はまだ判つていない。

地球と海

現代は科学の時代である。そして地球上のあらゆる国が工業国家として発展していつてゐる。

このことが地球にどんな恐ろしいことをうながしてゐるか知つてゐるだろうか？ 地球上では、人間が莫大な石油や石炭を使つてゐる。公害は毎日のように新聞に報じられてゐる通りだ。この石油、石炭消費のために空気中には炭酸ガスがどんどんふえ、地球上の大気の温度を少しづつあげてゐる。

大気の温度が上がると、北極や南極の氷がとけはじめ、そして海水がふえて、水面がどんどん陸をかくしてしまふのだ。地球はさう遠くない時代に、表面がすっかり海になつてしまふだろう。このことは科学者がはつきり指摘してゐるところである。

日本もアメリカも海の中に没する。そのとき吾々、どこに行けばいいのだろうか。

句会おしらせ

三月三日 夜七時半

場所 ササギ南天子居

兼題 魚の子、パクー釣る 出水

熱帯魚

同好者の御来席を歓迎致します

バストス 仙人掌社

御礼

金一封

右は故河津秀次郎様御逝去の御忌返しとして当区へ御寄附下さいました。厚く御礼申し上げます

サウーテ 区

"BASTOS GOLUF CLUBE"

C.G.C.(ME) Nº 44 930 927/001

BALANÇO PATRIMONIAL ENCERRADO EM 31 DE DEZEMBRO DE 1973

バストス・ゴルフ・クラブ
貸借対照表

1973年度

A T I V O			P A S S I V O		
<u>DIPONIVEL</u>			<u>NÃO EXIGIVEL</u>		
CAIXA	1.310,42		PATRIMÔNIO	242.390,03	
NUMERÁRIOS EM BANCOS	46.174,72	47.485,14	RESULTADO DO EXERCÍCIO(+)	34.436,41	276.826,44
<u>IMÓBILIZADE</u>			<u>EXIGIVEL</u>		
IMÓBEIS	101.638,78		CONTAS A PAGAR		2.216,00
VEÍCULOS	43.373,90		CREDITOS DO PODER PUBLICO		
MÓBIS E UTENSÍLIOS	42.401,50		IMP. P.S. A PAGAR	252,56	
TERRENOS E GLEBAS	69.726,40		T.G.T.S. A PAGAR	224,64	
EQUIPAMENTOS E INSTALAÇÕES	5.000,00	232.140,58	F.I.S. A PAGAR	106,06	563,28
TOTAL		279.625,72	TOTAL		279.625,72

DEMONSTRAÇÃO DAS CONTAS

損益計算書

RECEITAS E DESPESAS ENCERRADO EM 31 DE DEZEMBRO DE 1973

DESPESAS		RECEITAS	
<u>DESPESAS:</u>		<u>RENDAS EVENTUAIS</u>	
GASTO COM O PESSOAL	24.407,02	ANUIDADES	-
GASTO DE MATERIAIS	12.575,35	DONATIVOS	-
GASTO GERAIS	25.690,37	CONTRIBUIÇÕES	-
SOMA	67.672,74	TAXA DE INSCRIÇÃO	-
RESULTADO DO EXERCÍCIO: transferido para a conta de PATRIMÔNIO	34.436,41	RENDAS DIVERSAS	75.829,15
		TAXA DE MANUTENÇÃO	21.280,00
TOTAL	97.109,15	TOTAL	97.109,15

BASTOS, 31 de Dezembro de 1973
A DIRETORA

二月二十四日(日)九時半 二十五日(月)八時
 東映 日からの出まかせ 梅宮辰夫 大信田礼子 清川虹子
 天竺 山城新伍 安部 徹 菅原文太

二月二十六日(火) 二十七日(水) 両夜とも八時
 大映 女賭博師下巻 江波杏子 山岸映子
 松竹 藤巻潤 後藤正二郎
 然色 久保菜穂子 三夏伸 日黒幸子

三月一日(金)八時 二日(土)九時半
 東宝 ゴジラとメカゴジラ 監督 福田純
 製作 田中友幸 佐々木路彦
 然色 特殊技術 中野明慶 川瀬裕之
 林ゆたか

三月三日(日)九時半 四日(月)八時
 松竹 剣と花 渡哲也 夏純子
 然色 田宮二郎 森雅之
 新藤恵美 谷村昌彦

三月五日(火) 六日(水) 両夜とも八時
 松竹 波止場女のブルエース 岡田茉莉子 小川ひろみ
 然色 森進一 川地民夫 西村晃
 森次浩司 西尾三枝子

三月八日(金)八時 九日(土)九時半
 東宝 反逆の報酬 石原裕次郎 夏純子
 然色 渡哲也 小池朝雄
 鰐淵晴子 高峰三枝子

帰って来た妻は二人、二人は復讐に燃えて、一人は白い獲物を追って大きな組織に挑戦する。

Reise de Cine Bastos

山ばなし 屈辱効果

「エサキ、ダイオードってなによ？」
 「坊や、パパにきくの付やめなさい」
 「トンネル効果ってのは？」
 「パパに分るはずないでしょ。夏休
 の宿題だって間違えたんだから」

安全 性

「おい、係長、うちの預金係り大丈夫だ
 ろうねえ」
 「使い込みですか？心配いりません」
 「ひとは見かけによらないからね」
 「うちはは上品で仕事にたんのうなもの
 ほど、だれもおりません」

極意

「護身には、オトコの弱点である金前を
 觸りあげることが一番だ」
 「先生、ニクラ又さんもタマは手でな
 く足で打てくとおっしゃってました」
 「名人のいうとどろは、一つなのだ」

紙不足

夫「トイレットペーパーは」
 妻「ないわ。値上りがしたからね」
 夫「新聞紙」
 妻「ないわ、不足しているからね」

夫「じゃ、兼っけ」
 妻「はいわ、庭がないからね」
 夫「アレを貯蓄しとけというのか」

競馬 狂

「ふうん、エサキ、ダイオードか」
 「そんな馬、知らないなあ。菊花賞に出
 走するの？」
 「ちがう、ちがう、ノーベル賞だよ」
 「へーえ。競馬にもノーベル賞ができた
 の、ブームだからなあ」

女心見習

「カゼだったんですってね」
 「どうして見舞にこなかったんだよ」
 「うっるといやだから」
 「おれたち婚約中だぜ。男につくす法を
 すこしオクラムに見習ったらどう」

御礼

金 一封
 右の御寄附を頂きました。ありがとうございました。
 御礼申し上げます

吉浦家御中 ハスト又貯金講